

寄宿舍便い

令和4年3月4日発行

自分の選んだ荷物は重くない

校長 進 藤 仁

春は間近に迫っています。

卒業生のみなさん、あらためて、卒業おめでとう。

この3年間を振り返り、今、君たちはどんな心境でしょうか？

特にこの2年間、様々な制約を受け、日常の生活の中で我慢をすることが数多くありましたね。それでも友達や先生と語り合ったり、お気に入りの音楽を聴いていたり、そこには「今の生活でできる日常」がありました。

私は、卒業する3年生との思い出の中で強く印象に残る出来事がありました。ある日、夕食を終えて舎室でくつろぐ君たちに会いに行きました。音楽を聴きながら口ずさんでいる一人の生徒さんに話しかけました。その生徒さんは、自分の進路で悩んでいる様子があり、私は少し心配をしていました。それでも、悩みに悩んだ末に結論を出し、チャレンジする決意をしたようでした。「〇〇(生徒さんの名前)、〇〇先生から聞いたよ。決心したんだね。」と言葉をかけました。その生徒さんは「決めました。これまでやりきる前(卒業後の進路先)からだめだと思っていたんで……。卒業して、〇〇で、まずは、がんばりきってみようかなと……。」その生徒さんの思いが伝わりました。うれしかったです。この生徒さんに限らず、自分の進路を悩んで決めた生徒は多いと思います。自分で選んだ道であれば、どんな苦労も、少しは苦労と思わずに進めることができるはずです。「他人の荷物を持った時は重く感じて、自分で選んだ荷物は重く感じない。」と思うのです。いつの日か、かならず、成長した君たちを先生方に見せてあげてほしいと思っています。

1年生のみなさん、1年目の寄宿舍生活はどうでしたか？ 憧れの先輩はできましたか？ 寄宿舍生活の良さは、「こうなりたい」と思う先輩ができること。そしていつも身近にいて手本にできること。面倒なことも難しいことも、「あの先輩もがんばっていたな……」と思えば、苦労と思わず進めます。選んだ荷物が重いか軽いかは「心がけしだい」ですね。4月からもよろしくお願いします。

2年生のみなさん、2年間ともに過ごした先輩たちが卒業します。一番、別れを惜しんでいるのは君たちですね。しかし、4月になると、「先輩がしてくれたことを後輩に伝える」という、これまで引き継いできた「先輩の役割」を自然に行う君たちがいるはずです。自分で選んだ道をしっかりと進む君たちの姿を見せてあげてください。

結びになりますが、保護者の皆様には、この1年間、寄宿舍の運営にご理解とご協力をいただき、感謝を申し上げます。今年度においても、新型コロナウイルス感染症によって、心配事が多かったことと、お察し申し上げます。重ねてお礼を申し上げます。

卒業生の保護者の皆様、卒業生は、無事、寄宿舍生活を終えることができました。これまで身につけた生活する力を新たな場所で発揮してほしいと願っております。

1・2年生の保護者の皆様、これからも、職員一同、生活の学びと豊かな経験の充実に努めてまいります。新年度においても寄宿舍運営のご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

クリスマス会

12月22日にクリスマス会を行いました。コロナ禍の中、密を避けるため会場を二つに分け、放送を利用する形で実施しました。

クリスマスメニューの夕食をとった後は、まずビンゴ大会です。舎室ごとにカードが配られ、放送で番号を発表する形で行いました。リーチになり舎務室前に集まった生徒達からは「惜しい!」「ビンゴ!」と大きな歓声があがっていました。

その後開設された二つの会場のうち、食堂で行ったのはカフェコーナーです。事前に注文したケーキやドーナツを受け取り、購買部のスペシャルドリンクとともに堪能しました。

二つ目は、柔剣道場を利用した撮影コーナーです。実行委員が装飾した撮影スポットで、グループに分かれて写真を撮りました。懐かしいポラロイドカメラで撮影された写真は、記念の1枚になったのではないのでしょうか。



卒業祝賀会

2月14日(月)に1年締めくくりの行事「卒業祝賀会」が行われました。

第1部は3年生の会食です。寄宿舍全員での会食は時勢柄難しいため、卒業生のみを対象とした会食会になりました。いつもと違うスペシャルな料理の数々に舌鼓を打ちました。寄宿舍での最後の会食が思い出深いものになってくれれば幸いです。

第2部は記念品の贈呈式を行いました。各舎室の3年生から舎室の後輩への手書きメッセージカードと記念のお菓子を渡しました。3年生からの一言をもらい、涙ぐむ在校生。そして、別れの実感が急に押し寄せ大粒の涙を流す3年生。笑い涙に包まれて卒業祝賀会の幕は降りました。

3年生には寄宿舍での出来事を胸に、羽ばたいて欲しいと思います。在校生は3年生の意思を継ぎ、すてきな上級生になってくれることを望んでいます。



今年度もコロナウィルス感染症の影響で制限のあるなかでの美利河寮生活となりました。そのような状況のなかでも友達と楽しみをみつけて、笑顔で過ごす皆さんをみることで良かったです。

保護者の皆様には、一年間、寄宿舍運営にご理解とご協力をいただきありがとうございました。